

【一般社団法人医療安全学会 第1回医療安全研修会プログラム】

ライブ 研修	章	講義名	講師	時間(分)
前期 (2024年 3月1日～ 3月14日)	1章	医療安全の基本的知識		
	1	我が国の医療安全施策の動向と基本的知識		
	1.1	我が国の医療安全対策の現状と動向	松本晴樹(厚生労働省医政局医療安全推進・医務指導室長)	30
	1.2	わが国の医療安全制度	大磯義一郎(浜松医科大学)	45
	1.3	医療事故の歴史とその意味	中島勲(虎ノ門病院)	45
	1.4	医療安全管理の基本的な概念	伊藤 英樹(広島大学)	45
				165
	2	心理学や人間工学および労働衛生の関連知識		
	2.1	医療事故発生の機序とヒューマンエラー①②	小松原明哲(早稲田大学)	90
	2.2	心理的安全性・多様性・行動経済学①②	辰巳陽一(近畿大学)	90
	2.3	働き方改革・タスクシフト	中島勲(虎ノ門病院)	60
				240
	3	法令や制度、指針等の関連知識	大磯義一郎(浜松医科大学)	60
	4	地域における連携の関連知識	菅野隆彦(下伊那厚生病院)	45
	2章	安全管理体制の構築		
	1	職種横断的な組織作り		
	1.1	組織運営に関する基本的知識	松村由美(京都大学)	30
	1.2	チーム医療・他職員との役割分担や協働	松村由美(京都大学)	30
	1.3	会議運営・コミュニケーションの推進	井手口直子(帝京平成大学)	40
				100
	2	院内の医療安全管理体制		
	2.1	医療安全管理部門や委員会業務	鈴木明(浜松医科大学)	45
	2.2	医療安全管理者の役割と業務	鈴木明(浜松医科大学)	
				45
	● 3	チーム医療とノンテクニカルスキル	辰巳陽一(近畿大学)	180
	3章	安全文化の醸成		
	1	非難しない組織文化の醸成	芳賀繁(立教大学・社会安全研究所)	60
	2	医療事故に際する職員のケア	平井理心(筑波大学)	60
	3	患者参加とコミュニケーション	秋山美紀(慶應義塾大学)	60
				180
			前期時間数(分)	1015
	4章	安全管理体制の構築		
	1	医療の質の向上と評価の関連知識		
	1.1	医療の質の管理	安田あゆ子(名古屋医療センター)	60
	1.2	医療の質の評価(業務フロー分析)	楠本茂雅(生長会)	60
				120
	5章	医療安全についての職員研修の企画・運営		
	1	研修準備	長谷川剛(上尾総合中央病院)	30
	2	研修企画・講義形式・演習形式、年間計画の立案	長谷川剛(上尾総合中央病院)	30
	3	医療安全のための教育教材とその活用法	荒井有美(北里大学)	30

後期 (2024年3月15日～3月31日)	4	研修計画全体の評価	荒井有美(北里大学)	30
	5	研修評価の具体例	藤井千枝子(慶應義塾大学)	20
				140
	6章 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価			
	1	医療事故報告制度・院内報告制度	松村由美(京都大学)	45
	2	院内外の情報収集方法	松村由美(京都大学)	45
	3	リスクの確認と分析		
	● 3.1	医療事故の分類方法 (RCA)	楠本茂雅(生長会)	180
	● 3.2	医療事故発生予防方法(FMEA)	田中健次(電気通信大学)	180
	● 3.3	危険発見能力の開発方法(KYT・5S)	新村美佐香(菊名記念病院)	120
				480
	4	事例の分析方法		
	4.1	定性的分析の基本	辰元宗人(キヤノンマーティングジャパン)	30
	4.2	定量的分析の基本	辰元宗人(キヤノンマーティングジャパン)	30
				60
	5	発生予防・再発防止対策・フィードバック		
	5.1	事例選択から安全対策立案の基本	新田雅彦(大阪医科大学)	30
	5.2	既存の安全対策例の紹介	新田雅彦(大阪医科大学)	30
	5.3	対策評価のための知識、技術、方法	宮崎 浩彰(関西医科大学)	30
	5.4	対策や再発防止等のフィードバック、周知方法	宮崎 浩彰(関西医科大学)	30
				120
7章 医療事故発生時の対応				
1	医療事故等発生時の対応に関する基本原則	奥村将年(愛知医科大学)	30	
2	医療事故発生時の初動対応に必要な知識	奥村将年(愛知医科大学)	30	
3	職員の事故発生後の患者対応の際の知識	荒神裕之(早稲田大学)	60	
4	Sorry Works	荒神裕之(早稲田大学)	60	
			180	
8章 各分野の医療安全				
1	医療機器とICT	田仲浩平(東京工科大学)	30	
2	医薬品の医療安全	山本崇(京都大学)	30	
3	診療診療放射線	小泉幸司(京都大学)	30	
4	診療情報管理士	荒井康夫(北里大学)	30	
			120	
9章 医療安全と先端医療技術				
1	総論	辰元宗人(キヤノンマーティングジャパン)	30	
2	新規技術(AR/VR)の紹介	田仲浩平(東京工科大学)	45	
		後期時間数(分)	1385	
		総時間数(分)	2400	

●印はオンラインでの実施です。オンラインでの参加が難しい場合、一定の期間でオンデマンド配信をいたします。

2024年度の日程は、

募集 12月末～3月21日

前期 2025年3月1週～2025年3月4週までオンデマンド配信をいたします。

後期 2025年3月2週～2025年3月4週までオンデマンド配信をいたします。

参加型ライブ研修（参加必須）

3月22日（土）9:00-12:00	4章 3.1 医療事故の分析方法（RCA）	楠本茂雅（生長会）
3月22日（土）13:00-15:00	4章 3.3 機関開発能力の開発方法	新村美佐香（菊名記念病院）
3月23日（日）9:00-12:00	4章 3.2 医療事故発生予防方法（FMEA）	田中健次（電気通信大学）
3月23日（日）13:00-16:00	2章 3 チーム医療とノンテクニカルスキル	辰巳陽一（近畿大学）

前期3月1日～4月2日視聴、後期3月15日～4月2日視聴 4月2日までに視聴終了しなかった場合、事務局に連絡後4月30日まで延長対応。

・ライブ研修を1日または2日受講できなかつた方には、次年度無料受講後、終了証を発行いたします。

・また、2025年7月にアドバンス研修を予定いたします。

ライブ研修を1日受講できなかつた方に関しては、アドバンストコース受講をもって終了証発行も可能です。（無料）

講師の所属は、2024年12月現在のものです。

申し込み・問い合わせ

医療安全学会 教育研修委員会事務局